年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅲ

教 科： 芸術　　科 目： 書道Ⅲ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（１～７組：田中久美子）

使用教科書：（書３（教育図書）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】知識を付け、技能を学んでいるか。身に着けた技能を活用している。

【思考力、判断力、表現力等】理解していること、出来ることをどう使っている。

【学びに向かう力、人間性等】知識・技能の獲得、思考・判断・表現力を身に着けることに粘り強く取り組んでいる。

科目 書道Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書能力を向上させ、用具用材の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。	生徒自ら書の良さや美しさを感じ、学び考える。そして書で表現する。	主体的に書に関心をもち、書の幅広い活動に取り組む力をつける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮	鑑賞					
1学期	**漢字の書の美と文化**	漢字五書体の変遷 ・篆書（甲骨文・金文・大篆・小篆） ・隷書（古隷・八分・漢簡） ・草書 ・行書 ・楷書 鑑賞や臨書を通して各書体の理解を深める		○		○	・学習活動への参加状況や態度 ・提出物（学習の成果） ・自分の作品、他者の作品を鑑賞し合い、課題や良さを尊重し合えているか	○	○	○	24
2学期	**仮名の書の美と文化**	古筆の変遷を学び、様々な古筆の用筆、運筆、構成を学び、創意工夫のある表現の技能を身に付ける			○	○	・学習活動への参加状況や態度 ・提出物（学習の成果） ・仮名の書の学習を通して日本の伝統文化を理解することができているか	○	○	○	10
	漢字仮名交じりの書の美と文化	自己表現の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する 用具、用材や作品の形式、紙面構成などを工夫し作品を制作する	○			○	・学習活動への参加状況や態度 ・提出物（学習の成果） ・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、自らの作品の制作を制作することができたか	○	○	○	10
	卒業制作	自らの意思で創造的な作品作りに取り組む ・臨書作品 ・木彫 ・絵手紙 ・篆刻 等々	○	○	○	○	・卒業制作に積極的に取り組めているか ・提出物（学習の成果）	○	○	○	8
3学期	**中国・日本書道史** **暮らしの中の書の発見**	書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解し、その良さや美しさを深く味わう。	○	○	○	○	・学習活動への参加状況や態度	○	○	○	2 合計 54